



議会だより

第4回定例会

議会の情報は下関市の
ホームページから

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

平成24年12月5日から20日までの16日間を会期として、第4回定例会が開催されました。
提案された補正予算議案と、一般議案のうち指定管理者の指定にかかる議案について、委員会での主な審査内容を紹介します。

補正予算

●議案第156号「平成24年度下関市一般会計補正予算(第5回)」

〈人件費の減額補正(総務費ほか)〉

問▼この度の補正予算は市が平成24年9月に策定した財政健全化プロジェクトと関連があるのか。
答▼平成25年1月から3月までの

職員の給料減額の合計約3000万円を当該プロジェクトの効果として計上している。

〈市民会館の改修(総務費)〉

問▼市民会館のトイレ改修の要望が非常に多いが、これに対する市の考えは。
答▼洋式化の要望や個数が少ないといった意見は重々承知している。今回耐震補強計画を策定するので、その前にトイレなどの改修工事を

行うと、工事が二度手間になる可能性もある。耐震補強計画策定後に計画の内容を踏まえた上で、トイレのリニューアルを含め、全体的に考えたい。

〈就労継続支援費の減額(民生費)〉

問▼1300万円の減額理由は。
答▼新たなサービス事業所の開設により利用者を見込んで積算をしていたが、定員20人のところ、実際の利用が6人にとどまるなど、利用者が当初の見込みを下回って推移をしているためである。

〈豊浦・大津環境浄化組合への負担金の増額(衛生費)〉

問▼同組合の当初の予算組みが甘かったのではないか。
答▼冷却装置の回転部分のプロペラファンに腐食による破損のおそれが生じたため、当初想定していなかった部品の取り換え修繕が必要となった。燃料費も、施設の老朽化による燃焼効率悪化のため、当初の見込みを上回った。

〈水門橋の補修工事(土木費)〉

問▼水門橋は特殊な橋であり、市道にも認定されている。管理・点検の状況は。



水門橋(大和町二丁目)

答▼水門橋は、建設後30年を経過しており、今回は部材的な補修を行う。県からの負担金を受け、市で水門橋と県所有の閘門(水位の異なる河川や運河の間で船を上下させるための装置)とを一体的に操作しており、水門橋の保守管理は、業者委託により月1回程度の点検を行っている。

●議案第158号「平成24年度下関市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)」

問▼高額療養費の補正の理由は。
答▼当初予算で、保険給付費を過大に見込むと、保険料を高く設定することになる。よって、過去の動向などを参考に給付費をかなり厳しく見込んだため、当初の見込みより不足が生じた。

指定管理者

●議案第198号「指定管理者の指定について」(下関市吉見体育館)

平成25年4月1日から平成28年3月31日までの3年間、下関市吉見体育館運営委員会を指定管理者として指定しようとするものです。

執行部の説明▼立地、規模の関係から、地域色の濃い体育館であるため、指定管理者の募集は非公募とし、吉見地区自治連合会を母体として組織された下関市吉見体育館運営委員会を指定管理候補者に選定した。

問▼指定管理者の募集は公募が原則である。公募とすべきではなかったのか。
答▼自治会をはじめ地域住民の利用がほとんどであるため、地域の方々の顔が見える者に運営してもらおうのがベストと判断し、「下関市公の施設における指定管理候補者の指定手続きに関する条例」第6条第1項第1号の規定に基づき、非公募とした。

●議案第199号「指定管理者の指定について」(下関市宮下関陸上競技場、下関市宮下関庭球場、下関市体育館、下関市弓道場、下関市相撲場、下関市アーチェリー場、下関市向洋グラウンド(照明設備)、下関市

フットサル場

平成25年4月1日から平成28年3月31日までの3年間、財団法人下関市公営施設管理公社を指定管理者として指定しようとするものです。

委員の意見▼高速道路のトンネルで天井が崩落する事故が発生したが、施設の老朽化の問題もあると思う。施設全般の管理には万全を期すとともに、スポーツ施設であるという性格から、施設の維持管理には特に注意を払ってほしい。

審査結果

第4回定例会では、執行部から、これらの議案を含め61件が提案されました。一部反対があった議案もありましたが、いずれも原案の



下関陸上競技場(左)、下関市体育館(向洋町一丁目)

通り可決(または承認、同意)されました。

意見書

平成24年第3回定例会で、4件の意見書を可決し、衆議院、参議院議長をはじめ、政府関係機関や地元選出国會議員に送付しました。その中の一つを紹介します。

◇中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書

中小企業は、地域の「経済」や「雇用」の要として非常に大きな役割を果たしている。特に、東日本大震災や震災後の復旧・復興において、地域に根ざす中小企業が日本経済の屋台骨であることが改めて認識された。

しかしながら我が国の経済環境は、長引くデフレ・円高に加え、原燃料の価格高騰、電気料金の引き上げ、電力需給の逼迫など、厳しい状況が続いており、柔軟な対応力、技術力、商品開発力等の優れた潜在力を持ちながらも、中小企業は苦しい経営を余儀なくされている。

本格的な経済成長への途を確立するためには、雇用の大多数を支え、日本経済の礎となっている中小企業の活性化を図る視点が重要

であり、中小企業の成長は、日本の景気回復の重要な鍵といえる。そのため、中小企業が潜在力を十分に発揮し、果敢に挑戦できるよう、あらゆる政策手段を総動員すべきである。

よって、政府におかれては、中小企業の重要な役割を踏まえ、事業環境の改善や経営力の強化等、中小企業の成長に資する施策の充実を図るよう、以下の点について、その実現を強く求める。

記

一、環境、健康、医療など新たな成長分野で事業を取り組もうとする中小企業を支援するために、積極的なリスクマネーの提供や経営支援の強化など、中小企業の成長支援策を拡充すること。

一、地域の中小企業に雇用や仕事を生み出し、内需を創出する活性化策として、老朽化した社会イン

フラの修繕・補強など、必要な公共事業に対し、一定期間、集中的な投資を行うこと。

一、中小企業の新たな投資を促進し、雇用を維持創出に資する「国内立地推進事業費補助金」をさらに拡充すること。

一、電力の安定的な供給体制の構築をめざし、自家発電設備及び省エネルギー機器、デマンド監視装置等の導入、LED等高効率照明の買換え等を促進するための支援措置を拡充すること。

一、中小企業の将来性と事業の継続性を確保するために学生・若者の雇用マッチング事業を地域単位で強化するなど、優秀な若手人材の確保のための対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年9月28日
下関市議会

第1回定例会(2月)

(日程は今後変更となることがあります。)

日	曜日	会議など
13	水	本会議(提案説明など)
14	木	休会(自宅審査)
15	金	常任委員会
16	土	休会
17	日	休会
18	月	常任委員会
19	火	常任委員会予備日
20	水	休会
21	木	休会
22	金	休会
23	土	休会
24	日	休会
25	月	常任委員会予備日
26	火	常任委員会予備日
27	水	休会(整理日)
28	木	本会議(表決など)

◆意見書とは?

地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。

議会には、当該地方公共団体の公益に関することについて、住民の代表として積極的にその意思を表明し、必要な措置を求めるため、国会や関係行政庁に意見書を提出することが認められています。

議会情報はインターネットで

市ホームページの「下関市議会」のページでは、議会のさまざまな情報を提供しています。



◆インターネット中継

本会議や委員会のライブ中継、過去の録画中継などを配信しており、自宅などで視聴できます。※同時に複数の委員会が開催される場合、1委員会のみ配信

◆会議録などの閲覧

会議録検索システムでは、平成2年5月以降の旧下関市議会の「会議録」「予算審査特別委員会」の記録が閲覧できます。平成17年2月13日の合併以降は「会議録」「常任委員会」「特別委員会」、平成24年4月以降は「議会運営委員会」の記録が閲覧できます。※定例会の会議録は次回定例会開催約2カ月後までに、委員会記録は開催月の概ね翌月に掲載